

安芸高田市多文化共生推進指針 概要版

- 趣 旨 プランにより確立されてきた事業を安定的に継続
- 特 徴 相談体制を継続し、外国系市民の地域交流の支援と
地域参画による住み続けたいまちづくり

理念

国籍に関わりなく個性と能力を十分に発揮することのできる
住み続けたいまちの実現

基本目標 1

安心・安全に暮らし続けられる地域づくり

施策

1 相談窓口の充実

- ①多言語相談対応体制の充実
- ②多言語対応のできる行政窓口サービスの充実
- ③柔軟な相談体制の整備

2 情報の多言語化の充実

- ①多言語化した安芸高田市暮らしの情報の充実
- ②地域情報の多言語化の啓発

3 子どもへの充実した教育の提供

- ①教育現場における情報多言語化の充実
- ②地域情報の多言語化の啓発

4 災害時に安心できる地域づくり

- ①あきたかた多言語支援リーダーの養成
- ②消防団への入団を促進
- ③防災学習の促進

5 日本語学習機会の充実

- ①地域での日本語学習機会の充実
- ②日本語学習支援者の養成

相談窓口

やさしい日本語、
多言語情報発信

学習支援

日本語教室

多文化共生とは
「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」

人権尊重のまちづくり

安芸高田市の多文化共生は、
人が尊重されるまちづくりの取り組みです

基本目標 2

住み続けたい魅力的な地域づくり

施策

1 寄添いある地域づくり

- ①市民へのコミュニケーション力の強化
- ②多文化理解への啓発
- ③地域行事への参画の促進

2 コミュニティの形成

- ①空き家などの住宅活用による居住支援の促進
- ②居場所づくり支援
- ③コミュニティ形成と継続性への支援体制の整備

3 若者参加の地域づくり

- ①高校生への多文化共生への意識の啓発
- ②大学との連携による地域づくりの促進
- ③就労機会の向上に向けての学習機会の充実

4 協働による地域づくり

- ①地域組織と支援団体との連携の強化
- ②日本人社会への参画の啓発
- ③他機関との連携

きらりの運営、
イベント実施

多文化共生推進
事業補助金制度

多文化共生ゼミ、
国際交流授業

イベントへの出店、
ポトラックパーティ、
料理教室

